

平成19年度 藤沢市公益的市民活動助成事業決定一覧表(初期コース)

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成申請額	助成決定額
1	ふじさわ子どもクラブ	子どもの健全育成とシニアの教育貢献事業	藤沢市の小中学校の学校支援ボランティア活動に、地域と学校を繋ぐ役割をする「コーディネーター制度」を導入することにより、地域の人々やシニア世代が「子どもの生きる力の育成」に貢献できる仕組みを作る。 会員相互の交流や情報の共有によりシニア世代の生きる力の向上を図る。	190,000	100,000	100,000
2	市民農園を拓げる会	市民菜園事業	目的:遊休農地を活用して市民が楽しめる菜園を作る。 (1)遊休農地(荒廃農地)の一部解消、環境保全 (2)市民菜園として市民に開放(有料)する。(心身共に健康増進) (3)当会の最終目標は大型市民農園(2,000-3,000坪)の開設・運営 内容:第一段階として、遊休農地を利用した小規模菜園を作り市民への利用開放を行う。 必要に応じて行政の斡旋協力を得る。(畑面積100~500坪、1区画10坪)	170,000	100,000	100,000
3	子ども企画プランナーズ	湘南台お化け屋敷大会事業	【目的】 子ども達が、企画制作に関わることで、目標達成や自己実現の素晴らしさを学びとってもらう。学生・青少年ボランティア交流の場から、社会の一員としての自覚や、周囲の人々との協働の大切さを学び合う機会を創造する。子ども達の能動的な参画によって生きる力を高める。 【内容】 小学生には思う存分楽しんでもらうために普段経験出来ない仲間との冒険を体験してもらい、そして中高生から学生には企画立案段階からの中心的役割を担ってもらうことをコンセプトに「お化け屋敷大会」を開催する。本団体を始め、地域諸団体との協力で構成される運営スタッフと連携しながら市内小学校において実施する。	110,000	100,000	100,000
4	グループピアズ 湘南藤沢	脳血管、中途障害者、支援事業	目的 脳血管障害者は、その固有の障害(片マヒや言語障害)のため、他者に理解されることは難しく、一人引きこもり最悪の場合、認知症へ移行してしまう場合もある。これを防ぐため、我々先輩患者が自らの経験中、つちかかって来た、リハビリに役立つ、知恵や工夫を後輩患者にカウンセリングしながら伝えることは重要であり、今後高齢者社会を迎えるに当たり、脳血管者は増えることこそあれ決して減るものではない。そして最終的には自分なりの自立をはかり、ひいては、一市民として地域社会に復帰し生きがいのある、後半人生を目指す。	179,840	100,000	100,000
	合計		4団体	649,840	400,000	400,000

平成19年度 藤沢市公益的市民活動助成事業決定一覧表(発展コース)

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成申請額	助成決定額
1	江の島みち ルネッサンス推進会 議	江の島みち ルネッサンス・ ベンチ共同寄贈設置事業	江の島みち ルネッサンスは3つの活動を推進します。 ①街の景観を阻害する要因の除却整備活動 ②みちの役割を再生する5つの事業活動 ③啓発活動と支援情報システムのソフト活動。この内、 ベンチの共同寄贈設置事業は重要な活動の一つです。 歩行者、高齢者、旅行者を支援するツールとして、ベンチはその役割を高めています。しかし、バス 停街路等は違反設置ベンチが氾濫し、タバコ吸殻、空き缶等のゴミ、違法広告等でまちの景観を壊し ています。「ベンチで憩うまちづくり」をキャッチフレーズに、善意の寄付・支援を得て共同で環境対応 ベンチを寄贈設置します。これ迄の実績と経験を踏まえ、関係者の協力を得て着実に推進致します。	1,040,000	400,000	400,000
2	湘南ふじさわ ウォーキング協会 *1	ウォークメイト&ウォーキング 教室事業	広く市民、特に中高年が明るく元気に暮らせる健康長寿社会の実現にむけて、初心者やこれまで ウォーキングに馴染みのなかった人をアウトドアに引き出し、ウォーキングの実践を通して、生活習 慣の改善と維持を図り、ウォーキングの楽しさ・効用を実感してもらい、介護予防により行政の財政的 負担を軽減する。 ①10km程度をゆっくり歩くウォークと、その人にあった歩き方、効用などを指導するウォーキング教 室 の開催：月1回 ②専門家によるウォーキング講話：年2回 ③老若男女、だれでも参加できるウォーキングイベントの開催：年1回	732,150	360,000	200,000
3	特定非営利活動法人 湘南ふじさわ シニアネット	商店街活性化事業	■商店街の活性化を図るため、 *商店街の活性化－商店街の組織強化・魅力創り・独自性の創出・地域特性を活かしたイベント開 催 *時代に対応した商店街－ITをツールとして活用促進 *顧客・地域ニーズにマッチした商店街－安全&安心・高齢化対応・利便性・空き店舗活用・地域コ ミュニティの場の提供 *次世代へつなげる商店街－後継者育成 *自治体／地域団体／NPOとの連携 などが求められている。 ■こうした環境の中で、 *商店街活性化のコンサルティング(啓蒙・提案・支援) *ITをツールとして活用する環境整備の提案・支援 *IT環境の整備指導－PC講座・Web作成・携帯電話への発信 などを、市内の商店街に拡大・実施。	980,000	400,000	400,000
4	鵜沼の緑と景観を守る会	松の緑を中心にした 「まちづくりの推進」事業	改正された藤沢市都市景観条例の「都市景観市民団体」第1号として、 1. 緑と景観や歴史的建造物を守り、鵜沼らしさを大切に住民参加の 環境保全活動。 2. 藤沢のシンボル「松の緑」の普及活動を通じ、鵜沼の文化を次世代に伝達。 具体的に 1. 配付済の松の苗木(約400本)の育成を指導 ①防虫対策講習会 ②日常の手入れ ③高所の枝の伐採 ④保存樹木指定を増やす 2. 植栽を通じて、小中学生に文化・景観を守ることの大切さを体験させる。 3. 建築物の保存活動を行い、保存が出来ない場合に備え、破棄される部材、庭の木石を斡旋する 体制を作 る。 4. 景観を損なう行為に対し、関係者に陳情、要望書を提出、住民側のアドバイザーに徹する。	630,000	300,000	300,000

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成申請額	助成決定額
5	NPO法人 西浜サーフライフ セービングクラブ	ジュニアライフセービング プログラム事業	片瀬西浜海水浴場・湘南海岸公園サーフビレッジ及びアクラブ藤沢(スイミングスクール)を拠点として毎月第2・4日曜日、年間を通したジュニアライフセービングプログラムを実施する。 ■主なプログラム ・ オリエンテーション、ビーチスポーツ、ビーチクリーン、サーフスキルプログラム(ボディーサーフィン・ビーチフラッグ・ニッパード・ランスイムラン)、ライフガードのパトロールの参加・体験、ジュニアライフセービング大会へ参加(ビーチフラッグ・ニッパード・ランスイムラン)、応急手当の基本や三角巾・心肺蘇生法の講義、プールを使用したスイムトレーニング、気象・海象や海の危険な生物についての講義など。	1,300,000	400,000	400,000
6	イルミネーション 湘南台	イルミネーション湘南台事業	目的： 藤沢市湘南台地区において、「まちに明かりを、こころに光を」をコンセプトとして、学生を委員長とする実行委員会と藤沢市が協働して事業を実施し、湘南台地域の“安心して暮らせる明るいまちづくり”・“活性化”を図る。“コミュニティ・ネットワーク”を形成することを目的とする。 ・構成：学生・地域住民・商店街・地域団体など。 内容： “まちづくり”の一環として、イルミネーションの点灯・各種イベントの実施・その他事業を実施する。	1,690,000	400,000	400,000
	合計		6団体	6,372,150	2,260,000	2,100,000

* 1 湘南ふじさわウォーキング協会の助成決定額については、当初助成申請額は36万円であったが、最終的に審査の結果、20万円に決定した。